

アイデア提案書

提案番号	No.21-1-9		
提出年月日	令和 3年11月5日	受付年月日	令和 3年11月 5日
所属		職名・氏名	
提案件名	ふるさと納税の返礼品の魅力アップについて		
提案の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの向上に役立つもの <input type="checkbox"/> 事務能率が向上するもの <input type="checkbox"/> 経費の節減・収入の増加に資するもの <input type="checkbox"/> 行政事務運営の革新となるもの <input checked="" type="checkbox"/> 本市のイメージアップに係るもの <input type="checkbox"/> その他公益上有効であるもの		
関係部署	企画課		
現状及び問題点	<p>(実施の必要性について具体的に)</p> <p>ふるさと納税の返礼品は、市のホームページ等で掲載されていますが、写真やおすすめポイント等はありませんが、それだけでは、インパクトが弱く商品の魅力に欠けるところがあるように思います。</p>		
提案の内容	<p>魅力ある商品とするために、目指すイメージは、「スーパーの実演販売」のような販売力です。</p> <p>そのためには、動画を作成し、納税者に「食べてみたい」、「使用してみたい」と感じさせることです。</p> <p>例えば、食料品であれば、その食材を使ってどのような料理ができるのか(レシピ動画)をデリッシュキッチンやクックパッドといった動画と連携し、その料理方法や料理の動画を掲載することで、「食べてみたい」と思わせる。</p> <p>生產品であれば、生産者が栽培や収穫をしている様子の動画を掲載することで、生産者の思いを伝える。</p> <p>備前焼であれば、備前焼を使用して、料理する動画、ビールを注ぐ動画、花を活けている動画などの様子の動画を掲載することで、備前焼の魅力を伝えるなど、動画と会話による新しい方法で返礼品のアピールを考えています。</p>		
期待される効果	<p>(効果について数量等を具体的に)</p> <p>他市のように、写真に数量や〇〇産を掲載する方法もありますが、動画や会話を使う方が、目からだけの情報ではなく、耳から入る情報もプラスされる相乗効果により魅力あるふるさと納税の返礼品をアピールすることが期待されます。</p>		
担当課意見	<p>【企画課】</p> <p>提案をいただきありがとうございます。担当としては、ご提案のとおり動画によるPRは有効だと考えています。しかし、現在すでに作成している商品も</p>		

ありますが、効果が出ていないのが現状です。

現在、返礼品のPR画像や映像は市の予算を使わないこととなっており、事業者の方をお願いしています。一部の事業者は、既に動画を作りPRをしています。先日には職員が動画も撮影し、今後もドローンを使った撮影なども考えており、随時動画作成を行います。

PRで効果を発揮するためには動画の編集の質や、作ったものをいかに公開（有料広告など）するか、また、そもそも商品の質を向上させることなど、さまざまな要素が関連し、ただ動画を作るだけでは効果は出ません。このため、費用対効果について十分に検証して進める必要があります。

和気町では画像1商品に20万円で専門業者へ委託し、PRを進め効果が出ていると聞いています。動画は、業者が作ると画像の数倍となる高額な費用が必要です。特定の商品だけに数百万円を費やすことが難しく、これまで進められなかった現状もあります。このため、まずは来年度に費用対効果を十分に検討したうえでの最善策となる画像とポータルサイトリニューアルの予算を要求する予定です。

また、先日の政策コンペで職員の有志でPRを進めることも提案しています。来年度から、コンペ案の有志で検討を行い、どのような対策で一番費用対効果が上がるのか検討と検証を重ねて最善策を進めていきます。その中では動画撮影などにも取り組む予定です。その際には提案者の方にも参画いただきますようお願いいたします。